

# 上工下水一体官民連携運営の検討について （みやぎ型管理運営方式の導入）



平成29年7月7日  
宮城県企業局



# 上水・工水・下水道一体管理運営 (みやぎ型管理運営方式の構築)

- 1 水道3事業の概要
- 2 水道事業の現状と課題
- 3 検討の基本姿勢
- 4 事業スキームはどうすれば良いのか？
- 5 宮城県は？
- 6 実現に向けて

# 水道事業における民間活力導入の形態

## 【指定管理者制度】

- 地方公共団体からの指定を受けた指定管理者が管理を代行する制度

## 【DBO型業務委託】

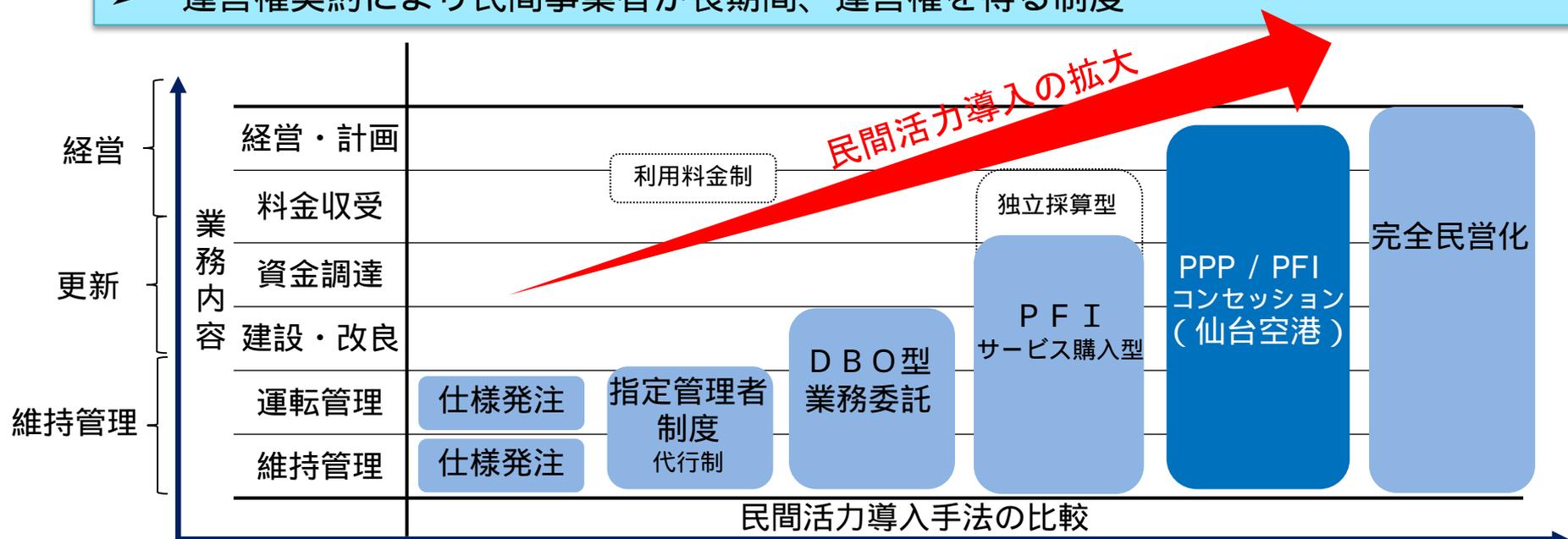
- 設計（Design）、建設（Build）、運営（Operate）を一括で委託する制度

## 【PFI（サービス購入型）】

- 民間資金で設計・建設・運営を行い、公共が対価を支払う制度

## 【PPP/PFI（コンセッション）】

- 運営権契約により民間事業者が長期間、運営権を得る制度



# コンセッション方式の特徴

コンセッション方式（公共施設等運営権制度）とは

- 利用料金の徴収を行う公共施設等について、当該施設の運営等を行う権利を民間事業者に設定するもの

経営への関与	中長期的な視野に立った <b>運営プロセス全体の効率化</b> が期待
競争性の確保	<b>有期契約</b> のため競争性を確保することが可能
民間の自由度を確保	<b>仕様発注から性能発注</b> への転換により民間の裁量が拡大
柔軟な役割分担	<b>運営権契約</b> により役割分担を決定
所有権は公共	<b>災害時等において公共の関わりを担保</b> することが可能
投資家等による監視	金融機関・投資家による財務モニタリングを通じた財務規律が期待



- 民間がトータルマネジメントを行うことにより、民間の**経営ノウハウ**を活用することができる
- **コンセッションは必ずしも完全民営化だけではない**

性能発注・・・発注者が民間事業者に対して一定のサービス水準の確保を条件として課しつつ、そのサービス水準を達成する方法等については民間事業者に任せて発注する方式

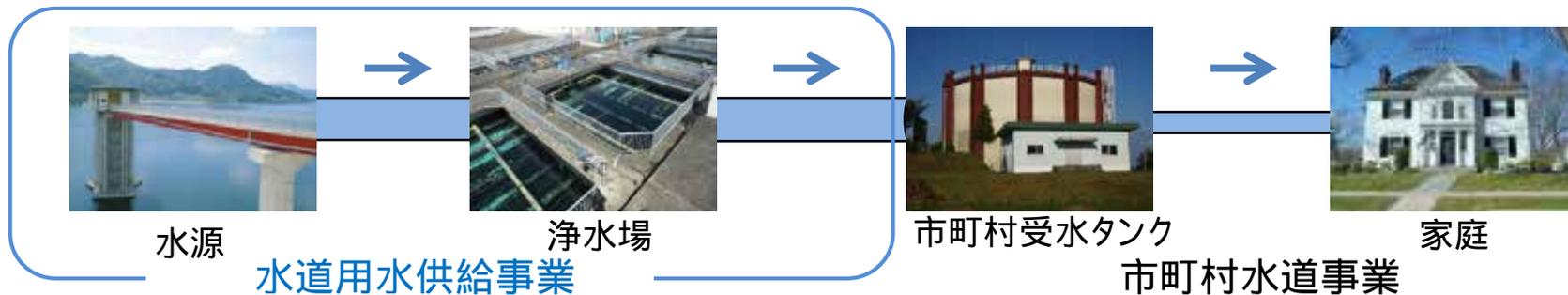


# 上水・工水・下水道一体管理運営 (みやぎ型管理運営方式の構築)

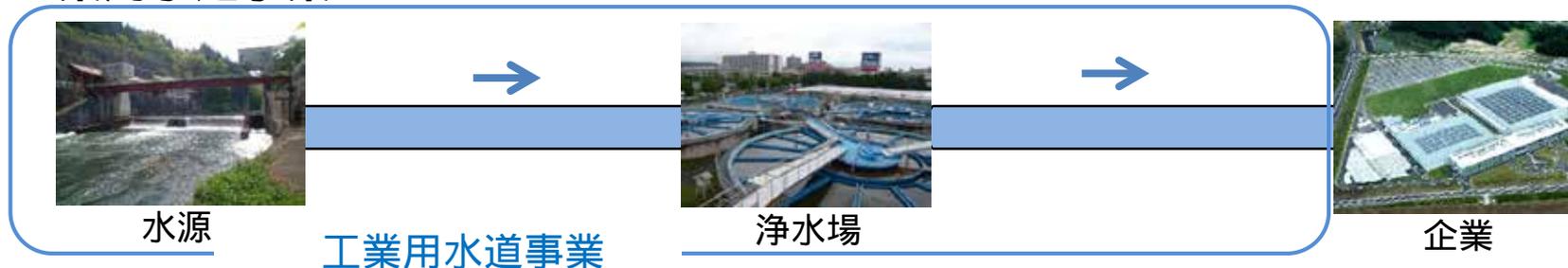
## 1 水道3事業の概要

# 水道 3 事業

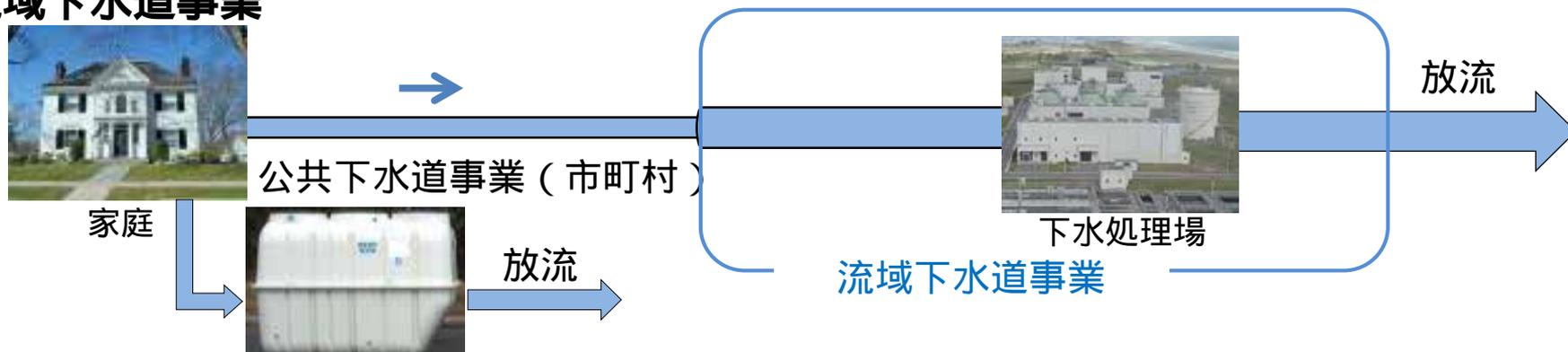
## ➤ 水道用水供給事業



## ➤ 工業用水道事業



## ➤ 流域下水道事業



合併処理浄化槽 (日本環境整備教育センター 浄化槽読本より)



# 水道3事業の規模・統計データ



項目	水道用水供給事業		工業用水道事業			流域下水道事業	
	大崎	仙南・仙塩	仙塩	仙台圏	仙台北部	仙塩	阿武隈川下流
事業数	2事業		3事業			全体7事業中 2事業	
施設能力(m <sup>3</sup> /日)	380,150		258,500			347,000	
実績水量(H28)(m <sup>3</sup> /日)	257,489 (施設能力の68%)		82,000 (施設能力の32%)			212,000 (施設能力の61%)	
県内のシェア(H28)	26万m <sup>3</sup> /76万m <sup>3</sup> =34%		-			-	
給水先/対象市町村	25市町村		67事業所			15市町	
経営(H27)	収益	150億円	14億円			31億円	
	純利益	50億円	7千万円			-	
委託方式/期間	一部外部委託 H27~H31(5ヶ年)		一部包括委託 H28~H31(4ヶ年)			指定管理 H26~H30(5ヶ年)	

**いずれも厳しい経営環境!**

